



ちやたん町

まち ニライの都市をめざす 議会だより

主な内容

条例制定・ちやたんニライセンター……………	3
平成14年度決算……………	4
一般質問……………	10

34号

2003年9月定例会
発行：2003.10.27



ちやたん町議会だより No.34

2003年10月27日発行

発行／北谷町議会
編集／議会広報調査特別委員会

〒904-0192 沖縄県中頭郡北谷町字桑江226番地
TEL (098) 936-3382 FAX (098) 936-9712
HPアドレス：http://www.chattan.p

文教厚生常任委員会・経済工務常任委員会・議会広報特別委員会

県外
研修
報告

経済工務常任委員会

【研修事項】

- 水源を利用したまちづくりについて
(静岡県熱海市、初島フィッシャリーナ)
(神奈川県三浦市、三浦フィッシャリーナ)
- 温泉利用型健康施設について
(静岡県熱海市、マリンスあたま)
(東京都世田谷区、瀬田温泉「山河の湯」)

【研修期間】平成15年2月4日～7日



初島フィッシャリーナを視察研修

議員研修について

「社会が多様化し、行政が量的に増大し、質的にも高度化する中で、幅広く行政、政治に対する知識、判断能力、地方制度や議会制度の仕組みや運営に対する知識に加えて、社会の動向を読み住民の要求を先取りし、それに応えていく感性が必要である。」とされます。

北谷町議会でも地域住民の要求に応えるべく研鑽を続けて参ります。町民のご指導、ご協力をお願い致します。

文教厚生常任委員会

【研修事項】

- ・医療費高騰に対処する保健事業の取組みについて (長野県松川町、伊那市)
- ・温水を利用した健康増進の取組みについて (長野県塩尻勤労者総合福祉センター)

【研修期間】平成15年2月18日～21日



伊那市での研修テーマは「保健事業について」です

議会広報特別委員会

【研修事項】

- 平成15年度第1回町村議会広報研修会に参加、北谷町議会広報の編集及び発行に関する調査。(東京都シェーンバハ砂防)
- (東京会議録研究所)

【研修期間】平成15年8月4日～7日



東京会議録研究所で情報管理等について研修

編集後記

9月定例会が9月16日から9月29日をもって全日程を終了しました。9月定例会は、決算議会といわれるように1年間の総決算であります。議会だより発行を担当する議会広報委員会は、本視察研修を実施し、議員みずからの自主編集を行い発行日を早め「住民と共に」の紙面づくりをめざし、全委員研修成果を議会だよりに反映させるよう、意気込んでいます。特に見づらいたとされた2色混色のカラー写真を白黒写真に変更し、町民が一目で内容がわかるよう総括リード記事を掲載しました。一般質問では「答弁みだし」を設けるなど改良を加えてまいりました。議会だより34号はいかがでしたか。議会広報では、議会の一部しか伝えられません。ぜひ自分の目で直接議事を傍聴していただきたいです。今後とも皆さんにもっと親しんでいただける内容と紙面構成に取り組んで参ります。ご意見、ご要望をお寄せください。

担当／仲地泰夫

ちやたんニライセンターの

設置及び管理に関する条例の制定

【全会一致原案可決】

(目的)

第1条 この条例は、町民の生涯にわたる学習活動の支援、文化の振興及び人材の育成を図り、もって町民生活の向上と福祉の増進に寄与するため設置するちやたんニライセンターに関し、必要な事項を定めることを目的とする。



問 「生涯学習支援センター」の名称募集状況は。

答 「ニライセンター」は140点、カナイホールは137点の中から選定委員会によって選ばれました。

問 児童生徒の学力向上に寄与させたいという方針はどのように活かされますか。

答 第5条に掲げる業務をはじめ、図書の貸し出し等によって、総合的学習の充実や学力向上につなげていく、更に学習の場の提供など、多様な面から支援できる体制です。

問 施設使用料については。

答 使用料は、受益者負担を原則として、他市町村の類似施設の使用料を参考にして制定しました。

生涯学習プラザと図書館の業務

(生涯学習プラザの業務)

第5条 北谷町生涯学習プラザは、次に掲げる業務を行う。

- ①生涯学習に係る講座等の開設及び講習会、講演会等の開催に関すること。
- ②芸術文化事業の開催及び実施に関すること。
- ③生涯学習に関する事業を行う団体への支援に関すること。
- ④生涯学習に関する事業を行う団体の連携及び交流の促進に関すること。
- ⑤生涯学習に関する情報の収集及び提供に関すること。
- ⑥学習成果の発表及び鑑賞の支援に関すること。
- ⑦学習プラザの施設の提供に関すること。
- ⑧北谷町学習等供用施設との連絡調整等に関すること。
- ⑨その他学習プラザの目的を達成するための事業に関すること。

(図書館の業務)

第7条 北谷町立図書館は、次に掲げる業務を行う。

- ①図書、記録、視聴覚資料、その他必要な資料(以下図書館資料という。)を収集整理し、町民の利用に供する。
- ②図書館資料の利用について相談に応ずること。
- ③読書会、研究会、講習会、映写会、資料展示会等の開催及びその奨励に関すること。
- ④読書団体等の育成に関すること。
- ⑤時事に関する情報及び参考資料を紹介し、提供すること。
- ⑥その他図書館に関する業務に関すること。

北谷町議会9月定例会開く

第276回北谷町議会9月定例会は、平成15年9月16日から29日までの14日間開催されました。今定例会に提案された案件は、専決処分1件、条例の一部改正1件、補正予算4件、請負契約4件、決算認定6件、事業剰余金処分1件、条例制定1件、土地の確認と区域の変更それぞれ1件、議員発議2件、陳情1件、合計23件でした。この中で、決算認定6件と事業剰余金処分1件等については、それぞれの所管常任委員会に分割付託され、三常任委員会において、それぞれ審査が行われました。本会議においては、即決議案も含め、すべての案件が議決されました。一般質問では十人の議員が質問に立ちました。各案件の審査の概要については本稿を参照下さい。

乳幼児医療費助成4歳児まで拡大

【全会一致原案可決】

実施は平成15年10月1日から

助成の内容

北谷町乳幼児医療費助成の対象年齢が、これまでの「2歳児」から「4歳児」に拡大されます



幼児検診で健康チェック

(入院・通院費を無料化、一部負担金なし)

財産の取得について

『ちやたん生涯学習ネットワーク』【全会一致可決】

- 1 基幹ネットワーク
- 2 生涯学習支援システム
- 3 マルチメディア工房
- 4 コンテツ制作
- 5 デジタルアーカイブ
- 6 図書館システム

工房機器一式
デジタル技術教育
音楽創作、CG制作等

臨時会

取得価格
1459万5千円

国・県 1313万5千円
 地方債 145万9千円
 一般会計 1千円

契約の相手方 浦添市城間4-35-1
西日本電信電話株式会社沖縄支店

特別会計

【全会一致認定】

国民健康保険

歳入総額 22億9008万2910円 (前年比8.08%減)

主な要因：療養給付費及び老人保健拠出金の減による国庫支出金の減額等

歳出総額 21億1831万9943円 (前年比11.36%減)

主な要因：療養給付費老人保健拠出金、介護納付金等の減額等

差引残高1億7176万2967円

老人保健

歳入総額 13億8194万1556円 (4.77%増)

歳出総額 13億7509万6130円 (4.52%増)

差引残高 684万5426円

予算総額に対する収入済額の比率 94.7%
 予算総額に対する支出額の比率 94.63%

公共下水道

歳入総額 5億8095万5489円

対前年度比：8778万3611円の減額

主な理由：国庫補助金と下水道事業債、米軍の下水道使用料の減

歳出総額 5億6932万631円

差引残高 1163万4858円

介護保険

歳入総額 10億3725万6207円

対前年度比：1億32万8426円の増額

主な要因：第1号被保険者介護保険料の増と保健給付費の増

歳出総額 10億2685万56円

対前年度比：1億1052万2761円

主な要因：保健給付費、介護給付費準備基金積立金、一般会計繰出金の増
 差引残高1040万6151円

(企業会計)

水道事業

収益的収入 8億1292万7701円

収益的支出 7億4782万8453円

資本的収入 3000万円

資本的支出 1億351万4681円

水道事業剰余金処分

平成14年度未処分利益剰余金 6129万8752円

地方公営企業法32条第2項に基づき

【全会一致原案可決】

減債積立金 400万円

建設改良積立金 5700万円

翌年度繰越利益剰余金 29万8752円

平成14年度
北谷町一般会計・特別会計歳入歳出決算認定

【全会一致認定】

一般会計

歳入総額 119億4461万3285円

歳出総額 112億9254万5035円

差引残高 6億5206万8250円

翌年に繰り越すべき財源

1億2729万9000円

実質収支 5億2476万9250円(黒字)



ちたんニライセンター

前年決算との比較

【歳入】21億7640万2058円減額

【主な要因】

- ・公立学校施設整備費補助金の減額
- ・生涯学習支援センター建設事業費補助金の減額
- ・沖縄産業振興施設整備費補助金の減額

【歳出】25億4725万7844円減額

【主な要因】

- ・普通建設事業費37.6%減
- ・人件費11.1%減
- ・積立金72.8%減
- ・物件費0.9%減

平成14年度の**主な事業成果**

- 第四次北谷町振興計画策定事業(基本構想)
- 桑江伊平土地地区画整理事業(測量設計)
- 北谷町福祉拠点地域等整備事業基本計画策定業務
- 北玉児童館建設事業(用地鑑定・基本設計)
- 玉上宇地原線道路新設事業
- 北玉4号線改良舗装事業(用地取得、物権補償)
- 北谷公園人道橋(ふれあい橋)建設事業
- 北谷公園温泉ボーリング工事
- 安良波公園環境整備事業(管理棟及び駐車場施設工事)
- 北玉小学校校舎改築事業
- 北谷町生涯学習支援センター整備事業
- 図書館整備事業



人道橋「ふれあい橋と呼ばれています。」

契約

北谷第2小学校特別教室増築工事（建築）請負契約

提案理由：工事の補助金が交付決定されたので、請負契約を締結して工事を施行したい。

契約の金額：5千6百70万円

契約の相手方：崎原土建株式会社

【全会一致可決】

浜川漁港西防波堤工事請負契約

提案理由：補助金が交付決定されたので、請負契約をして工事を施行したい。

契約の金額：1億8千9百万円

契約の相手方：旭建設株式会社

【全会一致可決】

砂辺馬場公園施設整備請負契約

提案理由：工事の補助金が交付決定されたので、請負契約を締結して工事を施行したい。

契約の金額：1億1,592万円

契約の相手方：株式会社日栄土木

【全会一致可決】



平成15年度 砂辺ぬ浜まつり

北谷公園温水利用型健康運動施設整備工事請負契約

建築 【全会一致可決】

提案理由：請負契約を締結して工事を執行したい。

契約の方法：随意契約

契約の金額：2億1千42万円

契約の相手方：上門工業(株)・(株)日栄土木建設
工事共同企業体

衛生設備 【全会一致可決】

提案理由：請負契約を締結して工事を執行したい。

契約の金額：7千2百万円

契約の相手方：徳進設備株式会社

空調・ろ過設備 【全会一致可決】

提案理由：請負契約を締結して工事を執行したい。

契約の金額：6千3百万円

契約の相手方：有限会社万代設備



温泉湧出で喜ぶ辺土名町長

補正予算 【全会一致可決】

一般会計

補正予算 6億9342万1千円
予算総額 111億3638万1千円

【主な歳入】

町民税（個人）	7211万7千円
（固定資産税）	4134万2千円
地方特例交付金	501万6千円
地方交付税	8881万9千円
国庫負担金	2500万5千円
国庫補助金	1億1761万5千円
県負担金	2897万1千円
県補助金等の確定	285万6千円減
繰入金	1億1000万円減
町債	960万円減

【主な歳出】

- ・人件費等 3159万8千円
- ・北谷町福祉施設拠点地域等整備事業に係る土地購入費 7390万円
- ・北玉4号線改良舗装事業費 1億1648万5千円
- ・ニライ消防本部庁舎建設に伴う消防費 1791万7千円
- ・北玉小学校外構整備事業に伴う学校建設費 2388万8千円
- ・平成14年度決算に伴う財政調整基金積立金 2億1758万9千円
- ・町有普通財産処分金運用基金積立金 1億4千万円

特別会計

国民健康保険

補正予算 6593万2千円
歳入：国庫負担金の増額等
歳出：保険給付費の増額等
予算総額 23億7914万3千円

公共下水道事業

補正予算 163万4千円
歳入：平成14年度決算に伴う繰越金の補正
歳出：維持管理費、公債費
予算総額 6億1431万8千円

企業会計 水道事業会計

補正予算 964万3千円
資本的支出の補正
予算総額 2億1494万円

専決処分の承認

平成15年度北谷町一般会計補正予算

【全会一致可決】

北玉児童館用地取得事業については、平成15年度北谷町一般会計予算において、債務負担行為を計上したが、債務保証については未計上ととなっている。地権者との土地売買交渉の状況から、早急に資金を借入し対応するための専決処分である。

債務負担行為補正

沖縄県町村土地開発公社の北玉児童館用地取得事業資金借入金に対する債務保証
期間：平成15年度から平成18年度まで 限度額：1億7244万4千円

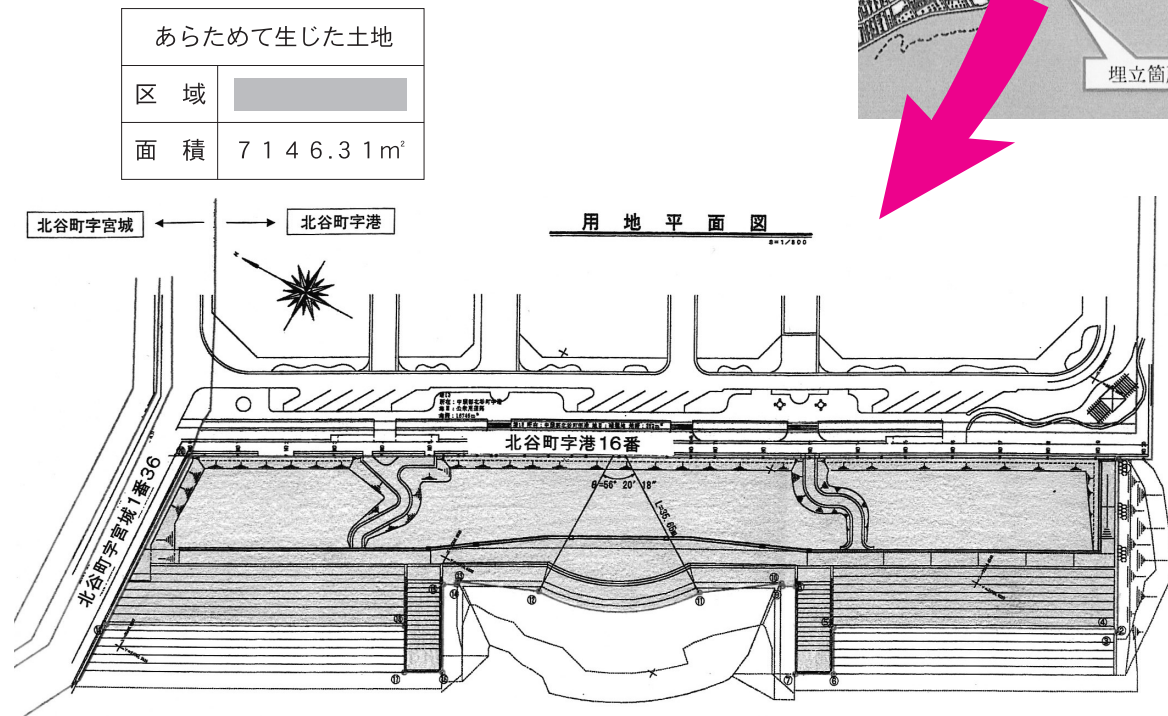
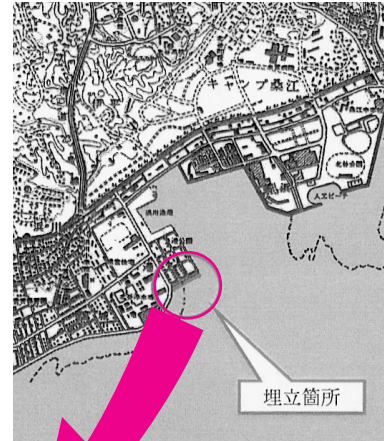
あらたに生じた土地の確認

【全会一致可決】

1. 土地の所在 北谷町字港16番及び字宮城1番36の地先公有水面埋立地
2. 土地の面積 7146.31平方メートル

【字の区域変更について】 (全会一致可決)

あらたに生じた土地・北谷町字港16番及び字宮城1番36の地先公有水面埋立地7146.31平方メートルを北谷町字港の区域に編入し、その区域を変更する。



県産品の優先使用をお勧めします。

県産品の優先使用について(要請)

【全会一致採択】

陳情団体：沖縄県JIS協会・沖縄県酒造組合連合会・沖縄県商工会連合会・
沖縄県商工会議所連合会・社団法人 沖縄工業連合会

趣 旨：県産品の需要拡大を図ることによって、県内企業の育成強化と雇用
拡大を促進し、県経済の活性化を推進することを、目的としている。

議員
発議

基地強化に反対

嘉手納基地への第18航空医療搬送中隊新設 及びU-2偵察機の一時的移駐に反対する決議 【全員起立原案可決】

我々は、基地機能の強化につながることに對しては、その都度嚴重に抗議してきたが、益々増大が予想される基地被害に對して、これ以上容認することはできない。

よって本町議会は、町民の生命、安全、生活環境を守る立場から、基地機能の強化につながる一切のものに對して断固反対するものである。

あて先：駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事、
嘉手納基地第18航空団司令官。

平成15年9月29日、沖縄県中頭郡北谷町議会

F15戦闘機からの照明弾(フレア)落下事故 に對する抗議決議 【全員起立原案可決】

あて先：駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米国総領事、
在日米軍沖縄地域調整官、嘉手納基地第18航空団司令官
平成15年8月18日・沖縄県中頭郡北谷町議会

F15戦闘機からの照明弾(フレア)落下事故 に對する意見書 【全員起立原案可決】

あて先：内閣総理大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、
防衛庁長官、防衛施設庁長官、外務省沖縄担当大臣、
那覇防衛施設局長、沖縄県知事
平成15年8月18日・沖縄県中頭郡北谷町議会



爆音を発するF15戦闘機

宮古島を襲った台風14号被害に對する復旧及び救済支援等を求める意見書

【全員起立原案可決】

去る9月10日から長時間にわたり宮古島全域を襲った台風14号は、最大風速74.1メートルとなり、宮古島の人々に甚大な被害をもたらした。本町議会は、今回の台風被害に對する復旧及び救済・支援等の事項がすみやかに実現されるよう強く要請する。

あて先：内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、
経済産業大臣、国土交通大臣、防災担当大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、

平成15年9月26日

沖縄県中頭郡北谷町議会

いっばん質問

Q フイツシャリーナ整備事業の住環境保全対策措置は

A 施工業者へ指導を行い回避や騒音低減に努めていく



洲鎌 長榮 議員

問 整備事業について、美浜区民への説明会の開催状況は。

答 5月13日に行った。

問 地域住民からの要望と対策は。

答 要望として①住環境への影響②接続道路の配置。対策として①住宅地に隣接する面には、緩衝緑地帯と有料駐車場を配置し、住環境への保全に配慮する。②サンセット美浜の北側護岸部町道美浜2号線から取り付けて対応する。

問 騒音、安全対策は十分に配慮されている

答 防犯カメラについては保留とし、調査研究していく。地域安全対策官の配置については、職員の定数、財政面も考慮に入れ、新年度に向け検討していく。

大型ホテル開業に伴う町の経済効果は

問 雇用や町経済にどのような効果が期待できるか。

答 地元の雇用を最重点に、適正な試験基準を明確に採用を行うと聞いている。年間25万人の集客を目指しており、経済効果も期待できる。

温水利用型健康運動施設の運営は

問 運営方法についてどのように考えるか。

答 民間の委託を考えている。

問 美浜公共駐車場への防犯カメラ設置と地域安全対策官の配置は、どうなっているか。

地域安全対策官の配置は

問 周辺の道路環境は現状で十分か。

問 町民の雇用、ホテル関係業種の町内優先受注等は可能か。

答 可能だと考え

問 サンセットビ



平成16年7月頃オープン予定の大型のホテル

Q 子供たちが健全で過ごせる環境づくりは

A 生涯学習推進体制の立ち上げを検討する



亀谷 長久 議員

問 家庭教育に行政の支援強化が必要と思うが。

答 家族団らんのきっかけになるような、親子名鑑賞会、青少年団体交流スポーツ大会、親子講座等を実施、PTA、婦人会、社会教育団体と連携し青少年の健全育成を図り、皆一つの家族のように、声を掛け合い、お互いに励まし合って、明るい地域社会づくりをめざしていく。

問 スポーツや文化活動等の幅広い選択枠が必要と思うが。

答 放課後、野球、バ

スケート等のスポーツ活動や校内美化活動、校内放送などの文化活動に取り組んでおり、金管バンドが県内で優勝したり、中学校中頭地区陸上大会で優勝するなどさまざまな活躍がある。学芸会、文化祭等では郷土の芸能を披露している。今後も学校における児童生徒のスポーツや文化活動の充実発展を図る。

問 地域の教育力向上のための支援策は。

答 教育委員会では地域の特性をいかした公民館モデル補助事業を支援しており盆踊り、芸能発表会、子供エイサー等が行われている。多くの子供たちが参加することにより、親、祖父母等の参加も増え交流も促進され地域が活性化されています。

今後とも地域の教育力向上のため支援策を考えていく。

問 生涯学習推進体制が必要であると思うが。

答 生涯学習社会に関する施策を総合的に推進するには、ボランティアを始め、全町民及び関連機関、団体の協力が不可欠であり、教育委員会との連携により生涯学習推進体制の立ち上げを検討していく。

桃原公園・多目的広場東屋の設置を早急に

問 桃原公園・多目的広場に、休憩のできる東屋を設置すべきだ

答 東屋が必要なのは理解しているが一



桃原公園多目的広場のテント

人当たりの公園面積が国の基準を超えて整備されているため、補助事業としては厳しい状況で、今すぐ単独事業として整備は厳しい、今後検討する。

文化芸術振興の導入を公募して導入していく



仲地 泰夫 議員

問 県の文化庁芸術鑑賞機会提供事業を北谷町の中学校に導入できないか。

答 学校公演については、大変厳しい状況にあるが、公募して導入していきたい。

町村合併をどう考えるか

問 3町村の合併問題研究会の報告書が出されたが、現時点で合併をどう考えるか町長の所見を伺う。

答 近日中に3首長の集まりをもつ。合併の是非を検討し、行政と議会が十分に議論を深めていくことが重要であると考える。

問 今後、合併問題を

国民健康保険の保険税免除及び医療費の一部負担金の減免・徴収猶予について町独自の制度はないか



照屋 宏 議員

適正基準を設定し健全な国保運営を図る

問 保険税の減免は、国の法定免除制度7割5割、2割があるが、北谷町独自の減免制度はないか。

答 保険基盤安定制度により、国2分の1、県4分の1、町4分の1を補填している。国や県からの財政措置がなく、適用基準を制定し、健全な国保運営を図っていく。

問 滞納世帯数の推移は、現在何%か。

答 平成12年33.3%、74%。13年度41.5%、世帯8.9%。14年度

め事件の再発防止に努めていく。

問 県教育長は学校側が指導マニュアルを策定していると言っているが、どのような内容が検討されているか。

答 個々の児童生徒に応じた指導、診断、理解、支援の在り方で、学校と家庭、地域社会が連携を重視した取り組みを強化する内容。

問 今後の取り組みをどう進めるか。

答 町青少年健全育成協議会の組織を見直し、近々臨時総会を開催して、関係諸団体を網羅した組織の改善を図る。

やみ金、サラ金被害者に対する相談窓口を設置する考えはないか

問 やみ金、サラ金の救済に、嘱託職員を配置して、相談窓口を設置する考えはないか。

答 専門的知識を有する方を配置し、実践的に対応する必要がある。町だけの対応は困難である。



学校安全対策及び避難訓練の実施状況は



喜友名朝真 議員

全校で防災訓練を予定

問 防災訓練の実施状況は。

答 実施済みの学校と2学期に予定している学校があるが、全校で防災訓練を予定している。状況は、

エイサーまつりを町主催で

問 エイサーまつりを町で主催できないか。

答 エイサーフェスティバルは、青年会の自主的な活動であり、町が主催となって開催する計画はない。

問 補助金交付団体に委託して開催はできないか。

答 青年会が主催となり取り組んでおり、補助団体への委託計画はない。

問 子供エイサーを中心に各自治会でまつりを奨励できないか。又、エイサーまつりで前半は子供エイサー、後半は青年エイサー等を実



改良工事がまたれる桑江5号線

問 工事の開始と進捗状況は。

答 今年度、物件移転補償や用地買上などが終わるところから工事着手。

問 道の全長、幅員、総工事費は。

答 延長は515メートル、幅員は12メートルで整備を図っていく。総工事費は3億2千380万円の見込み。

問 用地取得や住民説明会はどうなっているか。

答 約73%の買い上げが完了。説明会は平成10年6月に上勢区公民館で行った。

問 各自治会が判断するものであり委員会としては計画はない。しかし、子供エイサーを活用したいとの計画があれば、側面から支援していく。青年エイサーまつりは、町青年連合会の主催事業であり、町としての計画はない。

問 桑江5号線整備計画の進捗状況は

答 今年度、物件移転補償や用地買上などが終わるところから工事着手。

問 道の全長、幅員、総工事費は。

答 延長は515メートル、幅員は12メートルで整備を図っていく。総工事費は3億2千380万円の見込み。

問 指導員の身分や幼稚園の職員の関わりは。

答 保育園の教諭としてとらえた方がよい。関わり方は、いろいろの方法で検討していく。

問 西原町のように学童保育園を指定し補助ができるか。



整備された北玉幼稚園

問 放課後児童健全育成事業の補助対象を受けたいと言う認可外保育園等からの相談があり、基準に合致していれば県と協議していく。

問 大阪での校内児童殺傷事件後、不審者侵入防止と不審者が校内に侵入した場合の避難誘導訓練等の実施計画は。

答 学校内が広く見渡せるように、事務室等を改修し安全確保に努めている。避難訓練については、すべての学校で実施する計画。

問 防止策として学校近辺であいさつ運動を

問 今後の取り組みをどう進めるか。

答 町青少年健全育成協議会の組織を見直し、近々臨時総会を開催して、関係諸団体を網羅した組織の改善を図る。

問 やみ金、サラ金被害者に対する相談窓口を設置する考えはないか

答 専門的知識を有する方を配置し、実践的に対応する必要がある。町だけの対応は困難である。

問 各自治会が判断するものであり委員会としては計画はない。しかし、子供エイサーを活用したいとの計画があれば、側面から支援していく。青年エイサーまつりは、町青年連合会の主催事業であり、町としての計画はない。

問 桑江5号線整備計画の進捗状況は

答 今年度、物件移転補償や用地買上などが終わるところから工事着手。

問 道の全長、幅員、総工事費は。

答 延長は515メートル、幅員は12メートルで整備を図っていく。総工事費は3億2千380万円の見込み。

一般質問

Q 嘉手納基地から派生する騒音

問題の対策は

A 関係機関への要請活動を展開していく



照屋 正治 議員

問 平成14年度騒音測定集計によると前年度より増加しているが、その対策及び国への要請内容は。

答 全町的に被害が増大している。地域住民の健康や生活環境を守る立場から、関係機関に被害の軽減を強く求めていく。

問 医療搬送中隊の移駐や、U2偵察機の一時的移駐について町長の所見を伺う。

答 任務内容からは、夜間の緊急出動等による新たな騒音被害や不測の事故等が予測される。町民の安全を守る立場から、一切の基地

機能の強化につながるものには、強く抗議するとともに、断固反対するものである。

CGG事業実施はいつ頃の予定か

問 今年度、何か所の事業が執行されたか。自治会や各施設への実施はいつ頃の予定か。

答 58号沿い、ミスタ―中華前の町有地に各種団体代表者による苗の植え付け作業を行った。小中学校や各種団体及び事業者などと連携を図りながら、町有地や公共施設など空きスペースを利用して行う予定。

問 花の種類や数など、どのようなものを予定しているか。

答 松葉ボタン、モスローゼ、トレニア、日々草等、季節の花の苗を

配布する。

2010年予定の全国高校総体に本町はどの種目を検討しているか

問 競技種目の意向調査は行ったか。

答 本町は、海邦国体でソフトボール競技を開催した事例もあり、それを参考に今ある施設を活用する方向で調査研究し、開催競技種目を決めていく。

問 学校

のグラウンドや屋外運動場に、ベンチの設置する考えは。

答 学校管理者と調整を図りながら設置に向けて取り組んでいく。

問 運動



医療搬送に使用されるKC135

Q ファイツシャリーナ整備事業は見直しすべきでは

A 十分配慮し事業を進める



中村 重一 議員

問 浜川漁港多目的利用施設整備プロジェクト計画、償還計画について伺う。

答 NTT無利子貸付金を活用し、有利子貸付金と併わせて埋立事業の整備を行い、処分地の売却収入ですべての費用を賄う。NTT-A型20年。農林漁業金融公庫20年。農林中央金庫10年で償還。

問 立地企業の見通し、埋立事業の問題点は。

答 見通しは明るい。土地処分が円滑に進められるよう努力し、自然環境に十分配慮し事業を進める。

温水利用型健康運動施設事業の見直しは

問 総事業費と返済計画、メンテナンスに係る経費の見直しは。

答 総事業費5億4千万円。維持管理費は協議して検討する。

問 施設の運営はどこか。予定業者との協議は進んでいるか。

答 民間を予定。管理運営の期間や施設の使用料等については、今後決定していく。

問 温泉の量と成分、料金設定等は。

答 温泉量1分間320リットル。泉質はナトリウム―炭酸水素塩泉で温度は42度。適正な料金を設定する。

キャンプ桑江の跡利用対策の見直しは

問 区画整理事業と減

Q シーポートちゃんカーニバルの検討時期ではないか

A 実行委員会において検討されるもの



阿波根 弘 議員

問 運営主体は町か、商工会か。主会場はそのままで良いか。開催日を夏休みに変更できないか。

答 主体は実行委員会形式をとっており、商工会青年部が中心。主会場は、今後、実行委員会において検討されるものと考え。海を使うイベントのため、台風が少ない時期に開催していく。

問 舞台演舞者・テナント参加者からの要望や苦情等はないか。

答 出演者の駐車場割り当て不足や配置等の要望。ビーチ内に流し台等の

水道が使える施設の増設要望等がある。

問 過去5年間の集客状況は。

答 第14回は6万人。第15回は8万5千人。第16回は8万人。今年第17回は10万8千人。隣接市町村の運営状況を把握しているか。

北谷・桑江両中学校の三線教室はどうなっているか

問 和楽器購入事業の進捗状況について伺う。

答 8月8日、生徒用20丁と教師用1丁を両中学校にそれぞれ完納。週1時間音楽の時間に学習ボランティアが指導を行う。

エイサーフェスティバルに町の支援が必要と考えるが

問 エイサー祭りに町の支援が必要だと考えるが。

答 支援策としては、エイサーを継承している青年会の育成を推進し、伝統文化の継承を図っていききたい。

大宜見小太郎顕彰碑建立を

問 故大宜見小太郎氏の功績をたたえ、顕彰碑をニライセンター内に建立してはどうか。

答 行政財産への個人顕彰碑の建立の事例がなく、今後、調査研究したい。



シーポートカーニバル人気メニューです

歩率、総事業費と補助額の見込みは。

答 総事業費約79億5千万円。国庫補助金約44億9千万円。保留地処分金14億3千万円。町単独費20億3千万円。平均減歩率約31%。

問 環境調査結果、埋蔵文化財の発掘調査費用の負担。地域設定と地権者の意見等は。

答 異臭が確認され再調査を行うと報告。発掘調査費約15億円を想定。国や県に支援を要請。

問 県道24号線バイパス道路建設に伴う問題等について伺う。

答 桑江・伊平土地区画整理事業で延長540メートルで整備を行う。

問 町民の健康づくり施策の人間ドックの定員増を図っては

問 人間の健康づくりや精神障害者に対する雇用支援施策を強化する必要があると思うが、現在の取り組は。

答 7つの精神保健事業を行っている。今後、精神障害者の自立と社会復帰の促進に努めていく。

問 人間の健康づくりや精神障害者に対する雇用支援施策を強化する必要があると思うが、現在の取り組は。

答 7つの精神保健事業を行っている。今後、精神障害者の自立と社会復帰の促進に努めていく。



環境調査が行われているキャンプ桑江跡地

一般質問

一般質問

Q 労働基準法違反の疑いのある時間外労働について、どう考えるか



大嶺 勇 議員

A 官公庁の職員は高度の行政事務に従事し、公益性が高いので勤務時間の特例が認められている。労働基準法違反ではない

答 締結をしていない。

問 平成5年度から14年度までの年間360時間を超える時間外労働職員数は。

答 平成10年度31名、11年度29名、12年度26名、13年度31名、14年度16名。

問 上位5名の時間外労働時間を示してもらいたい。

答 平成10年度①860時間②740③706④669⑤654。平成11年度①790時間②777③678④638⑤626。平成12年度①796時間②776③683④547⑤508。平成13年

問 職員組合との36協定はどうか

答 労働基準法第32条に規定する1週40時間、1日8時間の労働時間を超えること、及び36協定の基準となる1年360時間を超えるということをもって、労働基準法第32条及び36条の規定に抵触するものではない。

度①1083時間②892③735④720⑤696。平成14年度①480時間②467③457④456⑤455。

中学生の集団暴行致死事件についての対応は

問 特に担任の先生による事件前後の家庭訪問等の対応について伺う。

答 4月、5月には、電話や家庭訪問を数回実施したが、父親が不在なため家族に会い本人に伝えるように伝言したり、学校に登校するようお願いをしてきた。

宜野湾地先埋め立ての汚染について当局はどう考えるか

問 干潮時には北側からの水路が埋め立てにより遮断され、潮の流れが悪くなっている。新たな水路の確保が必要だと思いが、当局の考えと、対策について伺う。



宜野湾地先の埋立工事

答 公社は調査を実施している。本町は、調査が完了し次第結果報告を求めている。

問 養殖の被害について、町も公社に交渉すべきだと思いが。

答 原因が明確になった場合には原因者に対し、被害者側と真摯に話し合いを持つよう要請する。金銭問題等については、当事者間の交渉により解決されるものと考えている。

平成15年10月27日

北谷町議会 議長 興儀朝祺

議会傍聴へのご案内

北谷町議会は、議会の活性化と開かれた議会をめざして努力しております。議会の情報を積極的に公開する一つとして、議会傍聴に議会資料を配布し、審議の概要が理解できるように努めております。多くの町民が議会を傍聴されますよう心からご案内申し上げます。

町民各位

一般質問

Q 桑江中学校生徒、殺害遺棄事件について問う



泉 朝秀 議員

A 学校、家庭、地域社会が連携して取り組むのが肝要

問 教育長は説明義務があるが何故マスコミがコメントを求めたら「今はコメントできません」と言ったのか。マスコミへのコメントは事件の重大さに鑑み、誠心誠意対応してきた。

問 桑江中の心の相談員は教育長とどのような関係か公私混同ではないか。

答 私の身内のものであり中学、高校の教諭免許、社会教育主事、社会福祉主事労働省認定のカウンセラー等の資格も持っており小学校の臨時教員も努めた事もある。子供たちの

相談相手にふさわしいと思ってお公私混同ではない。

問 文科科学省次官の「北谷町教育委員会、学校の対応は不十分だった」とのコメントは、問題の兆候を把握しながら未然に防ぐことができなかった。管理者の責任問題になると思いが。

答 兆候らしき状況という認識には大変厳しいものがある。事務次官の話がどれだけ事実関係に裏付けされているか、判断の難しさに苦慮している。管理者の責任問題については不登校生徒で在宅や所在の確認が大変難しい状況で、加害者に対してコザ児童相談所等への通告。相談もしており、こういう視点から責任を言及するのは厳

しい。

問 教育の原点はなにか。

答 人格の形成をめざし、真理と正義を愛し、個人の価値を尊び、心身共に健康な国民の育成。

問 子供の居場所づくりの対策は。

答 学校にきて体育館、運動場を使用する遊び、レクゲーム等ができるようにしており、

公民館事業、社会教育団体を支援している。

問 県の教育委員会は不登校児の支援カルテ作成を進めているが、町はどうなっているか。

答 各小中学校生徒指導担当教諭を集めて、支援カルテの説明を提出を求めている。

問 被害者への補償はどうなるか。

答 司法の判断に委ねていくべきと考えている。

長者の大主

(ちようじやのウフシユ)

表紙説明

琉球舞踊や村踊りの中で演じられている祝儀舞踊の一つ。登場人物の構成は一定してないが、老人を中心に子や孫、ひ孫らというふうにならびの思想を強くうち出した舞踊『中山伝信禄』には、一七一九年の尚敬王冊封式典余興芸能として演目の第一番目に記録され、古い頃から演じられていたことが確認できる。

この芸能は、長寿延命、五穀豊穰、村落共同体構成員の健康・繁栄を強調する祝儀舞踊の典型的なもので、使用されている音楽や所作にもそれが伺える。(沖繩大百科辞典より)

砂辺では戦前から、村の伝統芸能として、「獅子」と組み合わせられ、毎年旧八月十五夜に演じ続けられて、今日まで伝えられてきました。

